

しんぶん  
**だいせん新聞**

がつごう  
**10月号**

はっこう しゃかいふくしほうじんおおさかふしやうがいしゃふくしじぎやうだん じよぶらいふだいせん  
発行：社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 じよぶライブだいせん

〒590-0808 さかいしさがいくあさひがおかまち ちやう  
堺市堺区旭ヶ丘中町4丁2-1

TEL：072-245-7485 FAX：072-245-7486

はっこうせきにんしゃ しょちやう いたはし ゆうじ れいわがんねん がつ にちほつごう  
発行責任者：所長 板橋 裕二 令和元年10月1日発行

りんねん いこころ ぱくく ともによろこぶ しゃかいのじつげん  
理念：ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現

しゃかいふくしほうじん おおさかふしやうがいしゃふくしじぎやうだん  
社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団

らいふ しょちやう いたはし ゆうじ  
じよぶライブだいせん 所長 板橋 裕二

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、ようやく過ごしやすくなりました。皆さん、いかがお過ごしでしょうか。夏の疲れが出ないようにご自愛ください。

今年も暑い夏でしたが、その暑さを吹き飛ばしてくれるお客様がじよぶライブだいせんに来訪してくれました。今、開催中のラグビーワールドカップ日本代表、リーチマイケル主将をはじめ8名の代表選手の方々です。生活介護の利用者と交流していただき、みんなで集合写真を撮った後、就労移行では、利用者と一緒に作業に取り組んでくれました。試合中とは全く違う優しい笑顔で接していただき、短い時間でしたが元気をいただきました。最後は生活介護の利用者と職員から、「ワールドカップの勝利を祈って エイエイオー」と、大きな声でエールを送って見送りました。ひとつでも上位に行けるようみんなで応援しています。

これからは、冬至に向け日が短くなるとともに、寒さも増してきます。インフルエンザなどの感染症にも気を付け、利用者の皆さんが健康で楽しく過ごしていただけるよう支援を行ってまいります。

**がんばれ！**  
ラグビー日本代表



しょうり いの がっつぽーず しやうごうしゃんと  
勝利を祈り、ガッツポーズで集合写真を撮りました。



しやうごういこう はこお  
就労移行で箱折り  
さぎやう りやうしゃ  
作業を利用者さん  
いっしょ たの  
と一緒に楽しくやっ  
ていただきました。

しょちやう めい せんしや  
所長が8名の選手をひとりひとり紹介し、

でむか  
出迎えました。



りーち まいけるしやう りやうしゃ  
リーチ・マイケル主将から利用者みなさんに  
あいさつがありました。





## 入所・生活介護

## 9月の行事『お月見会』 を行いました。



サービス管理責任者 山元 明子

この日のために、数日前から利用者の皆さんと職員が一丸となり、壁面作成に取り組みできました。大きな満月にウサギとすすき、そこに利用者の皆さんの【食べたいもの】を貼り出し完成です。当日はこの大きな満月の壁面と団子を飾り、お月見会が始まりました。

『十五夜お月さん』や『うさぎうさぎ』など馴染みのある童謡を、みんなで手拍子しながら歌ったり、踊ったり宴会の始まりです。つづいて、お月見に因んだ紙芝居「あわてんぼうウサギ」を鑑賞しました。

お飾りの団子を見てか、予想通り?!「月見団子が食べたい〜」という声もあがりました。

そしてお楽しみの昼食メニューは、皆さん大好物のカレーに目玉焼きがのった『お月見カレー』です。皆さんとても満足そうに召し上がっていただけました。

この日に撮影した写真をアルバムにして、生活介護利用者のご家族様にプレゼントしました。また利用者の皆さんには、支援員手作りのお月様の首飾りを配り、秋の気配を感じるひとときを楽しんでいただけたと思います。



## 就労移行支援

サービス管理責任者 青木 祐也

今年度、就労移行支援では現在4名の方が就労、2名の方がトライアル雇用、1名の方が就職内定しており、働きながらそれぞれの夢や目標に向かって日々励んでおられる姿は、「輝いているなっ!!」と感じています。

じょぶライフだいせんでは、利用者さんに事業所内でのプログラムに加え、仕事内容や環境の異なったさまざま

な企業での仕事を体験していただくことで就労に向けた支援を行っています。また職業的な支援だけでなく、就労以外の目標と一緒に考えたり、生活全体に目をむけることができるような支援にも事業所として取り組んでいきたいと考えています。



## 風車

相談支援専門員 長澤 多加

## のどか

サービス管理責任者 田中 加代

風車の担当になり半年、最近では風車の事務所にいろいろな人が訪れてくれるようになり、とても賑やかです。

ご自身でセルフプランを書かれている方は、計画を作成させていただきまますので、お気軽にご相談ください。これからの生活のことを一緒に考えていきましょう。

昨年の大型台風直撃被害の記憶が残る中、今夏堺市周辺は、その難は逃れることができました。しかしながら全国各地では台風直撃を含む自然災害が発生しております。グループホームにとっても防災、減災に関する備えは必要不可欠な要件となっています。引き続き非常用の食料及び防災グッズ等の確認から、夜間想定訓練の実施など、できることから積み上げを心掛けていきたいと思っております。